

資料提供	
令和5年8月9日	
担当課 (担当者)	鳥取県感染症対策センター (宍岐、加賀田)
電話	0857-26-7153、7770

## 新型コロナウイルス感染症患者数（令和5年第31週：速報）

このことについて、県内の定点医療機関から報告された患者数は次のとおりです。  
 なお、第31週詳報については、8月14日(月)に公表予定です。

＜集計期間：令和5年第31週(令和5年7月31日(月)～8月6日(日))＞

地区	東部	中部	西部	合計	全国(第30週)
定点数	12	6	11	29	—
患者数	228人	160人	249人	637人	—
定点当たり患者数	19.00人	26.67人	22.64人	21.97人	15.91人
前週比(倍)	0.86倍	0.87倍	0.86倍	0.86倍	—
流行情報	●警戒	●警戒	●警戒		

### ＜参考＞

- ・定点当たり患者数とは、1週間に新型コロナウイルス感染症と診断された1定点医療機関あたりの患者数。
- ・定点医療機関の内訳は、小児科定点：19医療機関及び内科定点：10医療機関

### ＜流行情報の解説＞

現在の感染状況が、第8波と比較してどの程度のレベルかを地区ごとにお知らせするもの。（図2参照）

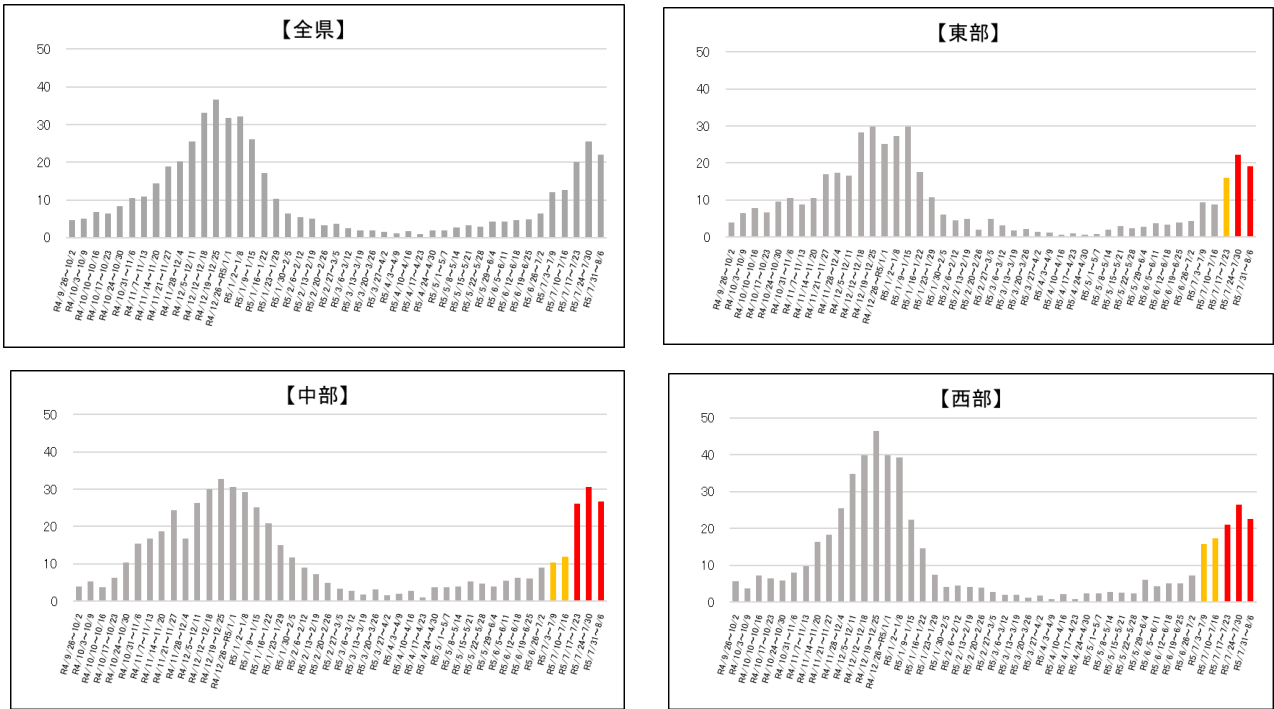
- 注意レベル： 定点当たり10人/週（今後の感染拡大に注意が必要と考えられる段階）
- 警戒レベル： 定点当たり20人/週（感染者数の加速度的な増大のおそれがある段階）

※いずれも、定点当たり10人/週を下回れば解除。

### ＜感染動向等に係る県感染症対策センターコメント＞

- 全県で先週より患者数が減少したが、中部・西部では引き続き定点当たり20人を超える状況。流行情報「警戒レベル」は全県で継続。
- 8月1日から、医療負担の目安である『新型コロナ警報』の“注意報”を全県に発令中。  
(県民の皆様・県内に滞在中の皆様へ)
- 帰省や大人数で集まる機会が増えますが、手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用といった感染防止を心がけ、特に高齢者と接する場合は、体調を整えるようにしましょう。重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。
- 気温が異常に高い状況が続いており、体力が落ちていることがあります。食事や睡眠をしっかりと、日頃から体調管理を徹底しましょう。
- 予期せぬ体調悪化に備え、抗原検査キットや解熱剤・咳止め等の常備薬を準備しておきましょう。発熱や咽頭痛があるなど体調が悪い場合や陽性が判明した場合は、無理せず自宅で安静に過ごし、周囲にうつさない配慮をお願いします。ご家庭内では、特に高齢者にうつさないよう気をつけましょう。
- お盆期間中は救急外来、急患診療所等の混雑が予想されます。急を要さない検査を目的とする受診はお控えください。症状が軽い場合は、抗原検査キットでセルフチェックをして、常備薬で様子を見ることも一つの方法です。
- 受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、指示に従って受診しましょう。
- 医療機関や高齢者施設で入院・入所中の方と面会される際は、施設のルールに従って対応しましょう。

【図1】定点当たり患者数の推移



注) 令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数

【図2】感染拡大レベル

